

2024年 環境レポート

富士通アイ・ネットワークシステムズ株式会社



FUJITSU I・NETWORK SYSTEMS LIMITED

Environmental Report

当社は、南アルプス、八ヶ岳、富士山を三方に望む自然豊かな南アルプス市に位置する企業として、環境保全が企業の重要課題であることを認識し、豊かな自然を次の世代に残すことができるよう、地球にやさしい企業活動を積極的に推進します。



ごあいさつ

富士通アイ・ネットワークシステムズのある南アルプス市がユネスコエコパークに登録されてから10年という節目の年を迎えました。

1960年にこの地に工場を開設して以来、高品質なものづくりと海外を含めた他社製品をインテグレーションするサービスを通じてお客様の期待にお応えするとともに、自らもデジタルテクノロジーを使った取り組みによって『環境に、人に優しいスマートなものづくり』の実現に向け進化を続けてまいりました。

主力製品のひとつであるスマートメーター通信ユニットは2014年の設置開始以降各家庭の電力使用量を自動で検針する事を可能にしましたが、まもなく始まる次世代モデルでは更なる性能強化によって再エネの導入拡大や省エネ・CO2排出削減など、電力システムの柔軟性を引き上げる為に必須のデバイスとして期待されています。

環境保全、地域活動の分野では、太陽光発電、非化石燃料への切り替え、緑のカーテン、各種断熱処理などに積極的に取り組み、継続的な事業所内の電力削減に努めるとともに、2013年から南アルプス市と協働でユネスコエコパークの緩衝地域である櫛形山に『山桜の森』を整備、夜叉神峠の登山道整備についても継続して参画しております。

富士通アイ・ネットワークシステムズは、環境問題への取り組みを経営の最重要課題の一つとし、提供する製品・サービスと事業活動に伴う環境負荷の低減に努め、地元である南アルプスユネスコエコパークの保全、さらには持続可能な社会の実現と地球環境保全に貢献してまいります。



代表取締役社長
多田 真敏

事業所の紹介

- 富士通アイ・ネットワークシステムズ株式会社
 - 所在地 : 山梨県南アルプス市有野3346
 - 設立 : 1943年10月18日 [株式会社長谷川電機製作所]
 - 従業員数 : 313名(連結:362名)(2024年4月1日現在)
- 主な事業内容
 - ネットワーク機器及び通信機器の製造
 - 国内・海外の各種ネットワーク製品の出荷保証とカスタマイズ
 - お客様の企画、開発計画に基づく新技術・設計・製造・試験等の提案型ビジネスの提供



環境活動／社会貢献活動

■ 2023年度の活動目標と結果報告

	環境目標項目	目標値	実績値	結果
1	エネルギー消費CO2の使用量をCO2換算で2023年度予測値の実質消費量比年11.9%削減（電力購入予測量の12%の再エネ購入を含む） ※当社の消費エネルギー：電力+灯油+ガソリン+軽油+LPG	1,763 t-CO2 以下	1,740 t-CO2	○
2	再生可能エネルギー購入量を電力購入予測量の12%に拡大	12% (406MWh)	12% (406MWh)	○
3	社会・環境課題の解決に取り組む活動の実施、及び資金、人材などを支援する。また、生物多様性の保全に取り組む。	13件 以上	17件	○

■ 省エネ活動

- 太陽光発電（2011年10月～）
- 空調機の集中コントロールによるピーク電力のシフト（夏/冬）
- 空調室外機遮光シート
- 建屋遮光シート
- 屋根散水機（自動化）
- 構内建屋のLED照明化（87.6%）
- 空調機の省エネ機器への更新
- 本業活動の中での省エネ
（設備／機械の可動率向上、省エネ性能装備品への更新等）
- 緑のカーテン（2010年～14年目）
構内3か所の建屋南面の日差しを軽減



太陽光発電（2020年：北棟に移設）



西3空調更新

■ 再エネ購入

再生可能エネルギー由来の「FIT非化石証書付電力」の購入を行いました。
年間購入量は、406MWh（電力購入実績の12%：計画も同じ値）とまだまだ、少量ですが、毎年4%ずつ増量し、2030年には電力購入量の40%を再エネにすることを目指しています。



■ 【環境／社会貢献活動】

● 協働の森「南アルプス 山桜の森」活動

2013年に南アルプス市とグリーンパートナーズシップ協定を結び、森の成長を助けると共に自然の大切さを学習する自然環境保全活動を行っています。

10年目の2023年度は4年ぶりに市との協働活動を再開しました。社長をはじめ参加者皆さんで、楽しく学び、作業を行いました。大きな山桜は12m超に成長しています。

- ・自然観察会（樹木の成長、シカの生態）
- ・柵周りの草刈り ・柵ネットのツタの除去

【南アルプス山桜の森】

- 南アルプス市 櫛形山 高尾地内苗畑地区
- 森全体面積：4.3ヘクタール
- ヤマザクラ、モミジ



11/23（木祝）『山桜の森 自然環境保全活動』
FINET・南アルプス市・高尾山財産区：35名

● 南アルプス山道整備（4年ぶり）

9月、夜叉神峠トンネル入り口から松尾峠、高谷山、中池へつながる山道の整備に参加しました。主催は芦安ファンクラブ(NPO法人)、針葉樹会(一橋大学山岳部OB会)です。主催の皆さんの手厚いサポートによりハードな作業も無事終わることが出来ました。



● ツツジ園の一般公開（初開催）

4月の大型連休初日、9分咲きのツツジに加え、お隣の南アルプスオーストリッチファーム様のご好意によりで当社の敷地からダチョウの見学をさせていただくことができ、来場者の皆さまには二重に楽しんでいただくことが出来ました。



● クリスマスイルミネーションの公開とイベントの開催

12月25日のクリスマスソングやレーザーライトによるイベントをはじめ、1日～25日のイルミネーション公開を多くの皆さんに楽しく過ごしていただけたと感じています。



● 近隣小学校の『地区探検』に協力

5月、小学2年生の「生活科 地区探検」に協力しました。自動実装機器の工場見学、通信機器の展示見学、電話機解体/電動ドライバー体験など、短い時間でしたが楽しく過ごせたようで、お礼のお手紙をいただきました。



● 多機能型通所事業所の方に販売実習の場を提供

事業所で製造したパンの販売実習を当社の食堂で行っています。（週1回）



● 献血への協力（1回/年）

7月にポスター掲示と全社メールにて協力を募り構内での献血に協力しました。献血バス2台、2時間の受け入れ時間に19名が協力しました。2回/年の協力を続けてきましたが、今年は能登半島地震の影響等があり1回となりました。



● エコキャップ（ペットボトルキャップ）回収活動【労働組合協働】（2010年～）

『世界の子供たちのために』という趣旨のもと、年1回『ペットボトルキャップ回収業者』を通じて、加工売却金の一部をJCV&ユニセフ』に届けていただいています。家庭で集めたキャップを社内回収BOXと、環境施設管理部、労働組合事務所で行い、従業員家族も含めた活動となっています。

● プルタブ回収活動【労働組合協働】（2022年度～）

『車いすを送ろう！』を目的にプルタブの回収を行っています。ペットボトルキャップと同じシステムで回収を行います。送付できる量になるまで送付はできませんが、毎年3月に計量して年間の回収量を確認します。

● 緑の募金活動（2013年～）

12月の10日間を募金期間とし、部門ごとに募金箱を設置、ポスター、メール、放送を通じて全従業員へ呼びかけを行っています。集まった募金は、募金箱をお借りした『公益財団法人山梨県緑化推進機構』様に寄付いたしました。

● 子ども食堂等への寄付（初）

子ども食堂への補助金制度など、子どもの幸せを願い支援する『南アルプス市 子ども若者ささえ愛基金』（南アルプス市の事業）に寄付をしました。

● 防災備蓄品の寄付

保存水(500mlペットボトル)、2,040本を認定NPO法人フードバンク山梨様に寄付しました。



回収/送付したペットボトルキャップ：129kg（約64.5千個）

プルタブ回収：9.62kg

★エコキャップ運動（6月/3月）

- CO2 抑制・・・406.4 kg-CO2
- ポリオワクチン・・・12人分

★緑の募金（12月）

- 寄付額・・・46,620円

★子ども食堂等への寄付（11月）

- 寄付額・・・30,000円



保存水：85箱



● 第50回 信玄公祭り への参加

10月28日にメインイベントの「甲州軍団出陣」に参加しました。初めての女性による信玄公と山本勘助に合わせて、当社でも女性大将と副将を中心に来場者と記念写真を撮ったり、ボールペンやケミカルライト（蛍光のリング）を配ったりと、陣屋でも行進でも祭りを盛り上げ、地域貢献の一役を務めました。



富士通アイ・ネットワークシステムズ、富士通Japanの連合隊 【総勢：40名】



林の4番隊 土屋右衛門尉昌統 参上

● 創立80周年イベントの開催

当社は2023年10月18日に創立80周年を迎えました。主役は“私”~家族と共に過ごす80周年~として、従業員をはじめ、支えてくださったご家族、諸先輩方、お取引先各社、近隣住民の皆様と共に歌やマジックのステージ、キッチンカーによる食の提供など様々なメニューで創立80周年を祝い、楽しみました。



● やまなしSDGs推進企業として

山梨県が持続可能な開発目標(SDGs)に積極的に取り組む企業や団体等を「見える化」し、県内におけるSDGsの取り組みの輪を広げるためにスタートした「やまなしSDGs登録制度」の「第1期やまなしSDGs推進企業」(2022年12月)に登録されています。(2024年4月1日現在、第5期までで615の団体が登録されています)

2030年までの目標と2023年12月時点の実績は下記になります。

また、3月には星野リゾートトリゾナーレ八ヶ岳様からお声かけされた「廃棄傘のアップサイクル」活動に賛同し、従業員から持ち込まれた廃棄傘55本を送付しました。

FINETの重点的な取組	SDGs達成年 2030年度までに	登録時 2022年12月	1年経過 2023年12月
再生可能エネルギー利用率	40%	4%	8.6%
女性管理職の割合	30%	4.5%	4.5%
子ども食堂への寄付	10万円	0円	3万円



■ 【環境教育・環境啓発活動】

● 環境月間（6月）の普及活動

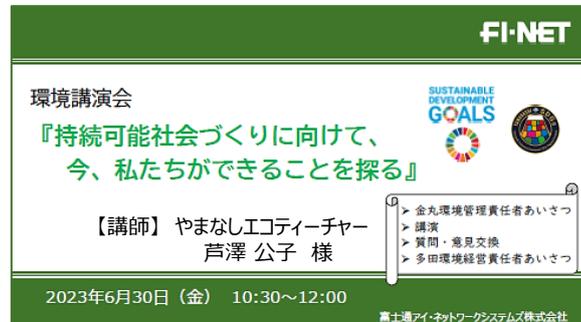
垂れ幕（玄関）とポスター（構内各所）の掲示、従業員の環境月間リボンの装着、環境講演会開催など、環境月間を知ってほしいと始めた活動ですが、今では環境について考える機会として発展しています。

● 環境講演会の開催

山梨県の環境事業「やまなしエコティーチャー派遣事業制度」を利用し、講演会を開催しました。

「『SDGs No.13 気候変動に具体的な対策を』これができるのは今の世代が最後の世代になるだろう。今やらなければ手遅れになる。」とされていることから山梨県の地球温暖化対策への取り組みや私たちができる事などを学習しました。

アンケートの結果からは気候変動に興味を持ち、活動を進めていきたいという前向きな記載が見られました。



6月30日（金） 参加者：33名

● 全社環境教育

全従業員を対象に当社のISO14001の認証を維持するために必要なことやSDGsの中で環境に関わることについての学習を年1回実施しています。環境講演会も動画を抜粋して視聴します。



■ 【廃棄物削減活動】

- 分別／有価物化の推進（各職場）
- リサイクル品保管センターでの細かな分別



★主な有価物

- 半田屑／半田付きウエス
- 鉛フリー屑
- 鉄くず／線材／基板
- 廃却部品／製品／設備
- 廃ダンボール／古紙
- 捨て基板／リール梱包材(廃プラスチック)

■ 【業務改善による環境負荷の低減】

日常の良品条件をデジタルに管理することで「良いもの」だけを生産できる状態を常に作り出すことを目的にした活動により、廃棄物の削減、業務の効率化などで環境影響に貢献、高品質の製品を安定供給することで信頼も向上しました。

● 自動実装部門の設備点検や異常時のデータをデジタル化

デジタル化したデータを管理記録することで、紙管理の排除や、過去に発生した異常時の原因及び対応のデータ化が可能になり、設備異常に対する事前対策、異常発生時の調査時間の短縮と早期／適切な対応を実現します。

● 対象を拡大

対象部門の横展開、デジタル化を行うデータの種類も拡張しています。

● 使い捨てから繰り返し利用へ

製品の転倒防止のために使用する使い捨てのストレッチフィルムを繰り返し利用できるケースロックに変更しました。



環境に関わる法規制の順守状況

法改正の速やかな把握により自社の事業活動に関わる法規制を確実に維持管理しています。また、法規制に基づく所轄官庁への報告、届出の実施等、法規制を確実に順守しています。

■ 地下水の水質検査

- 地下水：2023年4月5日と10月11日に地下水モニタリングを実施し、規制基準を順守していることを確認しています。

物質名	地下水基準(mg/L)	2023年度内最大測定値	結果
1,1-ジクロロエチレン	0.1以下	0.001未満	○
1,2-ジクロロエチレン	0.04以下	0.001未満	○
1,1,1-トリクロロエタン	1以下	0.023	○
トリクロロエチレン	0.01以下	0.001	○
クロロエチレン	0.002以下	0.0002未満	○

★地下水モニタリング採水について

2009年に採水井戸（3か所）を設置し、土壌汚染対策法に基いた地下水基準順守のモニタリングを実施しています。山梨県、南アルプス市へ「問題なし」の結果報告を継続しています。

■ 騒音および振動の測定

- 騒音及び振動の測定を敷地境界において2023年11月21日に実施し、規制基準を順守していることを確認しています。

年 月 日	区分		自主基準値	山梨県条例値	2023年度内最大測定値	結果
11月 21日	騒音	朝	53	55	51	○
		昼	57	60	50	○
		夕	53	55	40	○
		夜	45	45	41	○
	振動	昼	55	60	30未満	○
		夜	50	55	30未満	○

★騒音、振動の測定について

構内6か所にて、騒音規制法、振動規制法の山梨県条例に基づき、測定を実施しています。学校が隣接しているため、自主基準値も設定しています。

■ フロン排出抑制法の対応

- 対象機器：空調室内機・室外機、製造設備、食堂設備等の内、フロンを使用しているもの。（家電リサイクル品は除く）
- 簡易点検／定期点検：1台ごとに点検時期を越えることなく実施し、問題の無いことを確認しています。

点検種類	点検の時期	実施年月日	点検数（台）	結果
簡易点検 1回目	3か月毎に1回	2023年 4月20日～6月21日	384	○
簡易点検 2回目		2023年 7月11日～9月4日	383	○
簡易点検 3回目		2023年 10月25日～12月14日	383	○
簡易点検 4回目		2024年 1月18日～3月4日	384	○
定期点検 対象：50kW以上の空調機	3年毎に1回	2022年9月～10月	239	○



環境方針

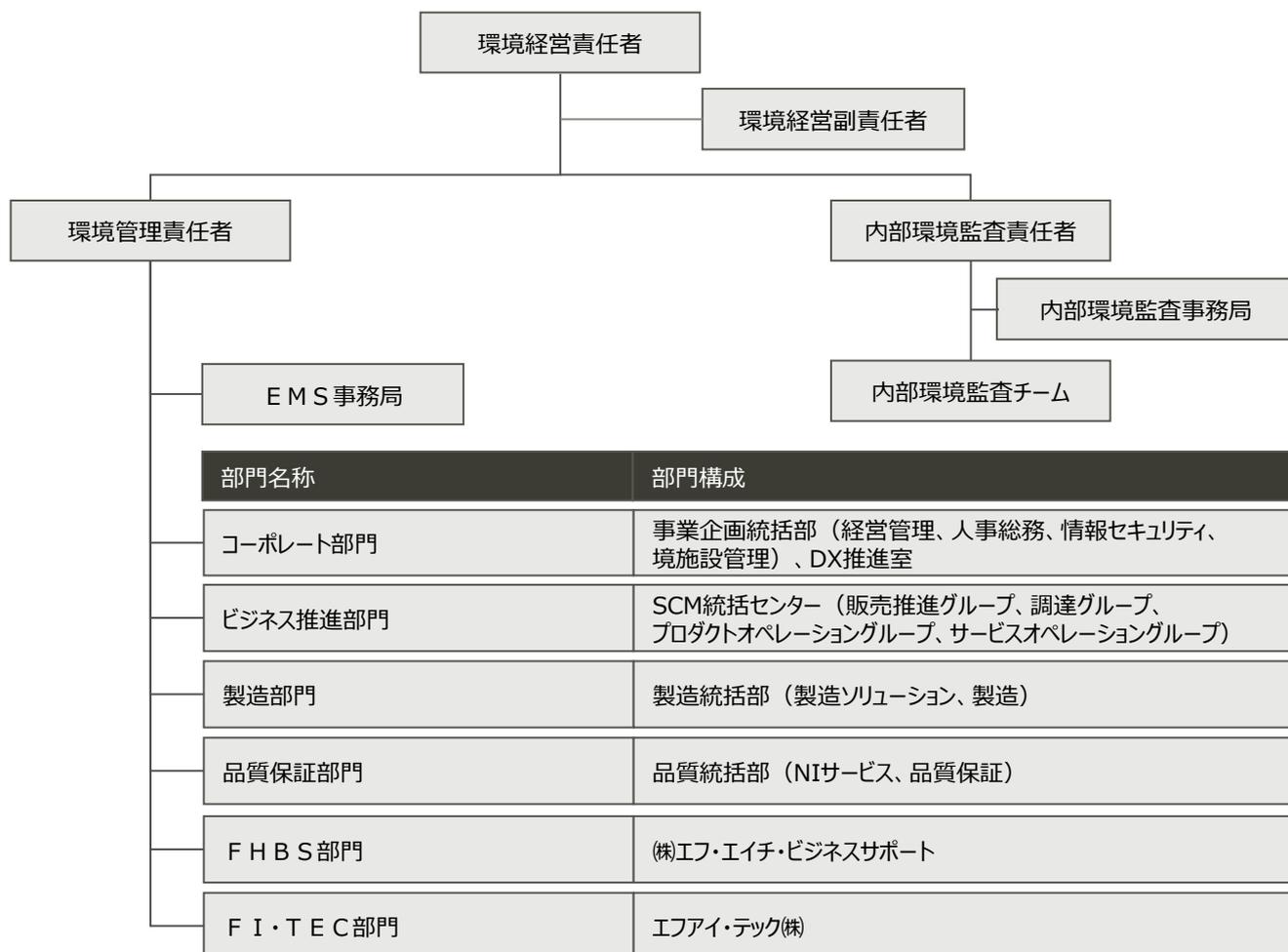
当社は、南アルプス、八ヶ岳、富士山を三方に望む自然豊かな南アルプス市に位置する企業として、環境保全が企業の重要課題であることを認識し、豊かな自然を次の世代に残すことができるよう、地球にやさしい企業活動を積極的に推進します。

■ 基本方針

- 1. 環境に与える影響を常に把握し、環境関連法、条令を順守します。さらに化学物質や廃棄物による汚染の予防や生物多様性保全を始めとした地球環境保全活動に努めます。
- 2. ISO14001に準拠した環境マネジメントシステムを構築し、環境により良い事業活動を推進するとともに、継続的な維持改善を実施します。
- 3. エネルギー消費CO2排出量の削減に努め、脱炭素社会の実現に貢献します。
- 4. 地域に根差した企業として社会への貢献活動に参加するとともに、環境啓発活動を推進します。
- 5. 環境行動計画を具体的に推進するため環境目標(KPI)を設定し、組織的活動により達成を目指す取り組み、および見直しを継続的に行います。
- 6. この方針は、教育・社内広報活動を通して当社内での業務に従事する全員に周知を行い、環境意識の高揚を図ります。

環境活動に対する対象組織

■ 組織構成は3社、362名（2024.4.1時点）となっており、活動体制は下図の通りです



環境負荷データ

使用量 (INPUT)

- 電力 : 3,338MWh
- 灯油 : 1.1KL
- ガソリン : 0.5KL
- 軽油 : 1.0KL
- LPG : 21.2t

※電力：再エネ購入量はマイナスしていません

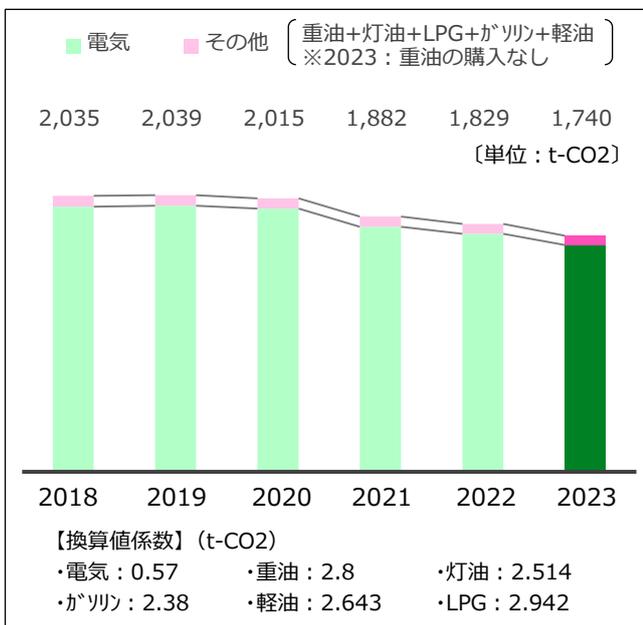
排出量 (OUTPUT)

- CO2 : 1,740 t-CO2
- 廃棄物 : 95 t

※CO2：再エネ購入量（231t-CO2）マイナス済み

環境負荷データの経年推移（主要な取り組み事例）

CO2排出量



★ 再エネ購入（2021年度より開始）

- 231.4t-CO2を購入（2023年度）

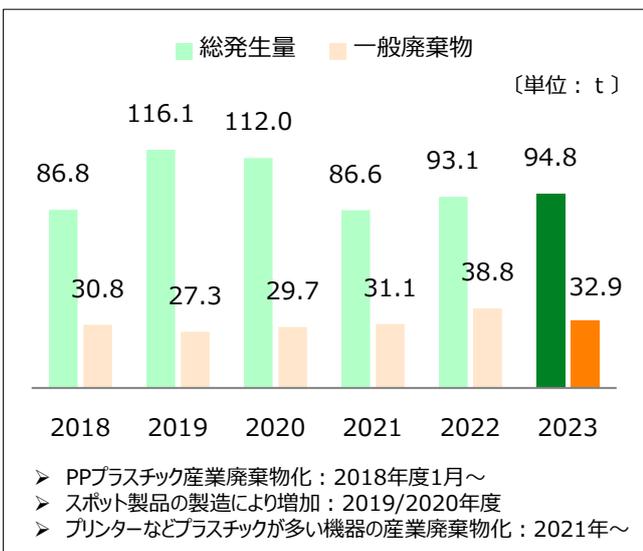
★ 省エネ対策

- 太陽光発電
- 設備更新時の省エネ機器への切替
- 建屋改修、遮光シートの設置 他
- ※詳細は2ページ参照

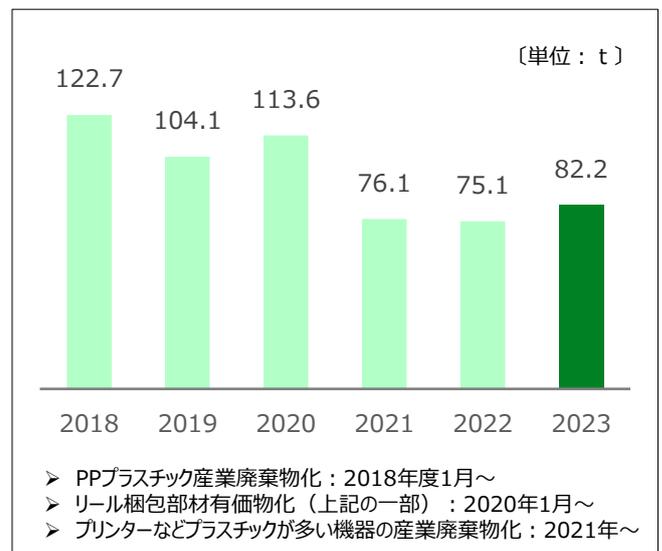
★ その他

- 2022年度に重油使用設備を廃却により、2023年度以降、重油の購入は無い予定

廃棄物



有価物



★ 廃棄物削減への活動

- 分別の推進を基本の活動としています。
- 主な有価物については6ページをご参照ください。



お問い合わせ先

富士通アイ・ネットワークシステムズ株式会社

環境施設管理部

〒400-0226 山梨県南アルプス市有野 3 3 4 6

TEL : 055-285-0383 FAX : 055-285-0314

発行責任者 多田 真敏

編集責任者 上島 康一

発行年月日 2024年 6月 3日

記載事項対象期間 2023年4月～2024年3月

報告URL : <https://fi-net.co.jp/>